

## 令和 3 年 2 月の市民の声（全 5 通のうち 4 通）

### ◇ 塩沢市民センターのコロナ対策について

#### 【ご意見・ご提案など】

先日、塩沢市民センターに用事があったので伺いました。入口に手指消毒用のボトルがあっただけで、窓口及びカウンターには、それらしいものは全く置いてありませんでした。カウンターで話す際の亚克力板はありましたが、共用のボールペンを渡されようとして、ちょっと嫌でした。拭いて欲しい旨の話をしたら、ハンカチみたいなもので拭いていました。周りを見ても、他の人が手続きを終わったあと、テーブルやボールペン、記入台などを、あれだけたくさんの職員がいるのに、誰一人として拭いたりする姿は見られませんでした。市役所は、そんなに次々と人が来て、時間が空かない訳でもないと思います。せめて、一人終わったらテーブルや使ったボールペンはアルコールで拭く、人が空いてきたら入口や記入台、椅子などはこまめに拭くなど、感染予防対策を徹底していただきたいです。

病院レベルとまではいかななくても、今の常識だと思います。たくさんの職員が税金で働いているのですから、市民が安心して行けるようにするのが普通だと思います。もし「対策はちゃんとやっている」と言われても、全然それが感じられなかったし、拭くのをお願いした私が変な人みたいに見られて、とても嫌な気分になりました。そういうことを言わなくても、「拭いてあります」とわかるような表示をしていただけると助かります。

（令和 3 年 2 月 3 日）

#### 【お返事】

塩沢市民センターの窓口対応でご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。

塩沢庁舎では、新型コロナウイルスの対策として、各窓口を除菌液と不織布を用意し、窓口の状況を見ながら、記載台

や窓口の物品について、除菌液を含ませた不織布で除菌しています。

除菌は、概ね1時間に1回程度実施していますが、状況によってはタイミングが変わることもあります。

ご指摘いただいた中に、「ボールペンをハンカチのようなもので拭いた」とありましたが、これは用意していた不織布に消毒液を含ませて拭いた場面をご覧になられたのかと思います。今後は、ボールペン等の筆記用具を「除菌済」と「使用済」に分けることや、来庁者のご使用になる事務用品の扱いや除菌方法について、本庁舎総合窓口、大和市民センター等と検討中です。

塩沢市民センターでは、現在の除菌体制に改善の余地がある事は否めないため、頂いたご意見を真摯に受け止め、来庁者のみなさんが安心して、お越しいただけるよう、より一層の市民サービス向上に努めてまいります。

(担当：塩沢市民センター)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

## ◇まちおこしについて

### 【ご意見・ご提案など】

昨シーズンの少雪、今シーズンはコロナと、南魚沼は経済的にも大打撃を受けています。コロナ終息まで、このまま待っていても、なかなか好転する気がしません。コロナにより、今は東京一極集中から、郊外県外移住が盛んに言われ始めました。南魚沼も移住推進地域と認識しています。

私はUターンで南魚沼に住んで3年目になりますが、感じるがあります。今私が考えているのは「テレワークの南魚沼！」と、目玉となるキャッチフレーズで、移住促進とテレワーク推奨企業の誘致をしたらどうかと考えています。ちなみに南魚沼は私にとっては、雪が降り生活が大変しにくいと感じています。それは仕事へ行くために雪掘りから始まり、勤務地が遠ければ出勤すらままならないからです。ただ、生活はしにくいですが、自然は豊かで、人間関係も素晴らしい地域だと思っています。

南魚沼は仕事の求人もないですので、今、南魚沼がやらなければいけないのは、仕事を増やすことだと思います。そして、雪が降る地域の特性上、テレワークをするにはぴったりの地域だと思っています。テレワーク推奨企業を何年間か税金を無税にするなどして南魚沼に誘致出来たら、仕事も増えるし、企業にも良いことかと思えます。とにかく仕事を増やしてください。

テレワークの南魚沼、未来ある南魚沼へ。どうぞよろしくお願いします。

(令和3年2月9日)

### 【お返事】

市では現在、「人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金」を活用して、スキー場でワーケーション(注)の試行事業を実施中です。新年度からは、このワーケーションに加えて、リモートワーク及びサテライトオフィス(注)の誘致による市内経済の活性化に取り組みたいと考えています。

また、コロナ禍の影響もあり移住者が増加傾向にある中で、

東京の会社に在籍したまま、テレワークで勤務する例も散見され始め、所得水準を向上させる手段としても推進することを検討している状況です。

ただし、テレワークを推進する一方で、市内の建設業、製造業や介護事業所などは依然として人材不足に悩まされている実態があります。これは求人が無い訳ではなく、求人と求職のニーズが一致しないことが課題だと認識しています。

テレワークに適した職業とそうではない職業とのバランスを考慮しながら、就業の場と人材確保が両立するマッチングを進めていきたいと考えています。

(注)

- ・ワーケーション：観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇を取る
- ・サテライトオフィス：本社や本拠地から離れた場所に設置する小規模なオフィス

(担当：U & I ときめき課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

## ◇道路除雪について

### 【ご意見・ご提案など】

今年はどうして雪がひどくても除雪が夜来ないのですか？ 昼間の仕事をしている人ばかりではないです。夜中に出て行く人もいます。出勤できないことがありました。雪がありすぎて車が出られなかったです。去年はあまり降りませんでしたが、一昨年までは夜 9 時頃まで来ていたような気がするのですが。もうこんなに市民のことを考えていないところにはられない。雪の降らないところに引っ越すことを考えています。このような有様では、どんどん人が出て行きますよ。

(令和 3 年 2 月 10 日)

### 【お返事】

市では、約 300km の道路を機械で除雪しています。原則として朝 7 時 30 分から夕方 5 時 30 分までに除雪が終了するように作業を行っており、今冬のように、夕方以降の短時間に多量の降雪があると、夜間の交通に支障が出る場合があります。除雪作業員の確保や費用面から、災害時や救急搬送時などを除いては、一律に夜間除雪ができる体制にはなっておりませんので、ご不便をおかけすることがあります。ご理解をお願いします。

今後も、より効率的な冬期道路交通の確保に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

(担当：建設課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

## ◇スキーリフト券の障がい者対応について

### 【ご意見・ご提案など】

湯沢のスキー場では、障がい者対応しており、手帳提示での割引が可能なゲレンデがありますが、南魚沼市では対応が無く、残念に思います。パラリンピックも盛んな時代ですから、ぜひ今後の対応を望みます。

友人の聴覚障がいのある、ろう者の方たちは、南魚沼の自然が大好きで、時々スキーにも県外から楽しみに出かけて行きます。地元の人よりも「南魚沼の景観を素晴らしい！」と絶賛してくれます。

ろう者の方からの目線では、社会福祉的な対応も遅れていることは間違いなく思っています。どうか来シーズンには嬉しい対応になるよう、ご検討をお願いします。

(令和3年2月23日)

### 【お返事】

現在、市内で営業しているスキー場は9か所ありますが、このうち、障害者手帳などの提示による割引を行っているスキー場は、4か所あります。

市内のスキー場は、ほとんどが民間企業であり、割引サービスなどの対応は、運営会社のサービスの一環として行われています。そのため、割引の内容については、障害者手帳を保持している本人のみを割引の対象としている場合や、介護者を含んで割引の対象にしている場合など、スキー場によって異なる対応を行っています。

スキー場をご利用の際には、事前にスキー場のリフトの利用料金や割引の有無などについてご確認いただいたうえで、お越しいただければと思います。

市としましても、障がいのある人も市内で観光などを楽しんでいただけるよう、今後も役立つ情報の発信に努めてまいります。

(担当：商工観光課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658